

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : サンヨール (DBEDC 乳剤)
農林水産省登録番号 : 第 9 6 2 5 号
会社名称 : 米澤化学株式会社
住所 : 京都府京都市南区唐橋芦辺町 14 番地
担 当 部 門 : 品質管理部
電 話 番 号 : 0 7 5 - 6 8 1 - 9 5 2 6
FAX 番 号 : 0 7 5 - 6 8 1 - 7 3 7 7
整理番号 : 0 1 0
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬 (殺菌・殺虫剤)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

引火性液体

区分 2

【健康に対する有害性】

急性毒性(経口): ラット

区分に該当しない

急性毒性(経皮): ラット

区分に該当しない

皮膚腐食性/刺激性

区分 3

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性(250 倍希釈)

区分に該当しない

皮膚感作性

区分に該当しない

生殖毒性

区分 1B

特定標的臓器・全身毒性

単回暴露

区分 1 (中枢神経系、視覚器、全身毒性)

区分 3 (麻酔作用)

反復暴露

区分 1 (中枢神経系、視覚器)

【環境に対する有害性】

水生環境有害性 短期 (急性): コイ

区分 3

水生環境有害性 短期 (急性): 甲殻類

区分 2

水生環境有害性 短期 (急性): 藻類

区分 2

※記載のないものは「区分に該当しない」または「分類できない」

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H225 引火性の高い液体及び蒸気
H316 軽度の皮膚刺激

H318 重篤な眼の損傷
 H336 眠気やめまいのおそれ
 H370 中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害
 H372 長期にわたる、または反復暴露による中枢神経系、視覚器の障害
 H401 水生生物に毒性

注意書き：

- 〔一般的〕 ・使用前にラベルをよく読むこと。
 〔安全対策〕 ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 ・容器を密栓しておくこと。
 ・熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。
 ・容器を接地する／アースをとること。
 ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
 ・火花を発生させない工具を使用すること。
 ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 ・保護眼鏡/保護面を着用すること。
 ・ミスト／蒸気の吸入を避けること。
 ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 ・取扱い後はよく手を洗うこと。
 ・環境への放出を避けること。
 〔応急措置〕 ・火災の場合、消火するために水、粉末、炭酸ガス、泡を使用すること。
 ・皮膚についた場合、直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合や気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 ・暴露した場合、医師に連絡すること。
 ・漏出物を回収すること。
 〔保管〕 ・容器を密栓し食品と区別して、直射日光の当たらない涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
 〔廃棄〕 ・内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事等の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
 化学名【一般名】： トデシルベンゼンスルホン酸ヒスエチレンジアミン銅錯塩【Ⅱ】 【DBEDC】
 成分及び含有量： DBEDC 20.0%
 界面活性剤、助剤 等 80.0%

官報公示整理番号：化 審 法：－

安 衛 法：－

CAS No.：6 1 6 0 7－8 2－7

危険有害成分情報：

危険有害成分	PRTR 法	安衛法 通知対象	毒劇法	CAS 番号	含有量
メタノール	非該当	560(≥0.1%)	劇物	67-56-1	40%以下

4. 応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：直ちに多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合や気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに多量の水を飲ませて吐き出させ、医師の手当てを受けること。

暴露した場合：医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：噴霧水、水、泡消火剤、炭酸ガス、砂

特有の危険有害性：燃焼ガスには、一酸化炭素のほかに窒素酸化物などの有害ガスが含まれるおそれがある。

特有の消火方法：火災発生場所から関係者以外を遠ざける。
危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに断つ。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
容器、周囲の設備等に散水して冷却する。
消火作業の際にはガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業をする。

消火を行う者の保護：適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

：付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
漏出した場所の周辺にロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際は適切な保護具を着用し、漏出物との接触及び蒸気、ミストの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

：河川等に排出され、環境に影響が出ないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

：少量の場合、ウェスなどでふき取る。
大量の場合、周囲に広がらないよう盛土などで囲い、漏出液を密閉できる容器にできる限り集め、残液を土、砂、珪藻土、おがくず等の不活性吸収剤に吸着させ、回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：使用するに当たって、ラベルをよく読み、記載事項以外の使用はしない。
取扱いは換気のよい場所で行う。
使用中、禁煙。点火源、着火源に近づけない。
適切な保護具を着用する。
関係法規に準じて作業する。静電気対策を講じる。

保管：直射日光を避け、熱源から離して保管する。
容器は完全密閉して、換気のよい一定の場所を定めて保管する。
耐火構造、危険物施設に保管する。
消防法令に従って保管する。
食品などとは区別して保管する。

8. 曝露防止措置および保護措置

成分	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
メタノール 67-56-1	200ppm	200ppm (260mg/m ³)	TWA 200ppm (260mg/m ³) STEL 250ppm

設備対策：屋内で取り扱う場合には、作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行う。

取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具：呼吸用保護具；保護マスク

保護眼鏡；側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡

保護手袋；不浸透性手袋

保護衣；作業衣、安全靴

9. 物理的および化学的性質

物理状態：液体
色：淡青色
臭い：データなし 臭いの閾値データなし
融点／凝固点：> -20℃
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
可燃性：引火性の高い液体及び蒸気
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
上限：データなし
下限：データなし
引火点：22℃（タグ密閉式）
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
pH：6.5～7.5
動粘性率：データなし
溶解度 水：可溶（懸濁）
溶媒：データなし
n-オクタノール/水分配係数（log 値）：データなし
蒸気圧：データなし
密度及び／又は相対密度：0.95～0.96 g/cm³（20℃）
相対ガス密度：データなし
粒子特性：データなし

10. 安定性および反応性

反応性：知見なし
化学的安定性：通常の取扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性：知見なし
避けるべき条件：加熱、着火源
危険有害な分解生成物：燃焼時、一酸化炭素のほかに窒素酸化物などの有害ガスが含まれるおそれがある。

1 1. 有害性情報

急性経口 LD₅₀ : 5,800～5,920 mg/kg (ラット)急性経皮 LD₅₀ : >1.0 mg/kg (ラット)

皮膚腐食性/刺激性: 軽度刺激性 (ウサギ)

眼に対する重篤な損傷性/刺激性

: 原液 重度の刺激性 (ウサギ) 角膜混濁 21 日以上

250 倍希釈液 刺激性なし

皮膚感作性 : 陰性 (モルモット)

変異原性 : データ不足のため分類できない

発がん性 : データ不足のため分類できない

生殖毒性 : 生殖能または胎児への悪影響のおそれ区分 1B のメタノールをカットオフ値以上含む

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

: 中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害区分 1、および眠気またはめまいのおそれ区分 3 のメタノールをカットオフ値以上含む

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

: 中枢神経系、視覚器の障害区分 1 のメタノールをカットオフ値以上含む

1 2. 環境影響情報

水性生物急性毒性 : コイ LC₅₀(96hr) ; 42.0 mg/Lオオミジンコ EC₅₀(48hr) ; 1.1 mg/L緑藻類 ErC₅₀(0-72) ; >1.6 mg/L

残留性・分解性 : 知見なし

生体蓄積性 : 知見なし

土壤中の移動性 : 知見なし

オゾン層への有害性: 知見なし

1 3. 廃棄上の注意

都道府県知事等の認可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして処理を委託する。

使用後の空き容器は、他の用途に使用しない。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 1 9 9 3 (その他の引火性液体)

国連分類 : クラス 3 (引火性液体)

容器等級 : II

緊急時応急措置指針番号: 128

国内規制

陸上輸送 : 道路法等に定められている輸送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

火気を近付けない。

容器が破損しないよう、丁寧に扱う。

荷崩れや落下事故を起こさないよう、荷造りを十分にした上で積み込む。

水濡れを避け、直射日光が当たらないようにする。

車両、船舶などには保護具 (手袋、眼鏡、マスク等) を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。

1 5. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第 9 6 2 5 号
適用作物、適用病虫害、使用方法・回数を遵守すること。
消防法 : 危険物第四類第二石油類、水溶性、危険等級Ⅲ
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険有害物（第 57 条施行令第 18 条） メタノール
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法） : 非該当
水質汚濁防止法 : 排水水及び地下浸透水の基準；銅基準値に準拠する。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物に準拠する。
水道法 : 水質基準；銅基準値に準拠する。

1 6. その他の情報

記載内容についての問い合わせ先： TEL 075-681-9526
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要なものです。
注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実施を対象としたものです。
本製品はこの安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱いしてください。
ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報及びメーカー所有の知見によるものですが、
これらのデータや評価は、いかなる保障をするものではありません。また、法令の改正及び新
しい知見に基づいて改訂されることがあります。